

徳島小松島港赤石地区国際物流ターミナル整備事業

事業評価に係るバックデータ

事業名	徳島小松島港赤石地区国際物流ターミナル整備事業
-----	-------------------------

1. 事業概要

※税込

構成施設	岸壁(水深13m)①(改良)、岸壁(水深13m)②(延伸)、泊地(水深13m)②、ふ頭用地、荷役機械	
事業期間	令和6年度～令和12年度	
事業費	90億円	

2. 費用

※税抜

	単純合計	基準年における現在価値(C)
建設費	81.4億円	71.3億円
管理運営費等	33.6億円	11.3億円
合計	115.0億円	82.6億円

3. 便益

	単年度便益	基準年における現在価値(B)
①モーダルシフトによる輸送コスト削減	11.0億円	173.9億円
②残存価値	4.0億円	0.5億円
合計	—	174.4億円

4. 結果

費用便益比(B/C)	2.1	(参考) 社会的割引率2%でのB/C : 3.0 社会的割引率1%でのB/C : 3.6
純現在価値(B-C)	91.8億円	
経済的內部収益率(EIRR)	9.0%	

5. 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比
需要	コンテナ:13千トン/年	±10%	1.9～2.3
事業費	90億円	±10%	1.9～2.3
事業期間	7年	±10%	2.1～2.2

6. 費用便益分析の条件

計算期間	令和6年度～令和58年度	社会的割引率	4%	評価基準年度	令和5年度
------	--------------	--------	----	--------	-------

事業名	徳島小松島港赤石地区国際物流ターミナル整備事業
-----	-------------------------

■建設費内訳

項目	単位	数量	金額(億円)	備考
工事費(税込)				
岸壁(水深13m)②(延伸)	式	1	33.0	
本土工 他一式	m	80	33.0	
岸壁(水深13m)①(改良)	式	1	4.4	
補強工 他一式	m	130	4.4	
泊地(水深13m)②	式	1	30.0	
浚渫工	ha	3.8	30.0	
荷役機械	式	1	18.6	
製作・設置 他一式	基	1.0	18.6	
ふ頭用地	式	1	3.5	
舗装工 他一式	ha	2.1	3.5	
合計(税込)			89.5	
合計(税抜)			81.4	

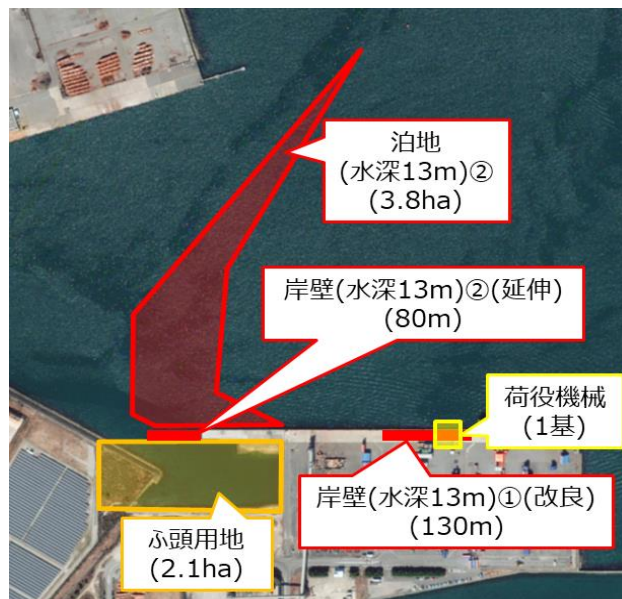
※港湾請負工事積算基準及び類似事業箇所の実績より算出している。

■管理運営費等

項目	単位	数量	金額(億円)	備考
再投資費用(税抜)	式	1	27.3	
管理運営費等(税抜)	式	1	6.3	

※港湾管理者へのヒアリングにより算出している。

■概要図



■便益計算の考え方(徳島小松島港赤石地区国際物流ターミナル整備事業)

①モーダルシフトによる輸送コスト削減

Without (整備なし)	陸上輸送(神戸港～工場)
With (整備あり)	国際フィーダー航路による輸送(神戸港～工場)

○便益計算

項目	With	Without	備考
①年間取扱量(TEU)	12,965		利用者ヒアリングを基に設定
②便益対象貨物(TEU)	12,965		利用者ヒアリングを基に設定
③20FT・40FTコンテナ個数(個)	20FT5,895 40FT3,539		港湾投資の評価に関する解説書(H29.4) P2-1-35の比率より設定
④トラック台数(台)	14,640		港湾投資の評価に関する解説書(H29.4) P2-1-35の比率より設定
⑤海上輸送距離(海里)	50	-	徳島小松島港～神戸港
⑥航海速度(ノット)	8.4	-	港湾投資の評価に関する解説書(H29.4) P2-1-30 から作成した近似式より、140TEU相当を設定
⑦航行日数(日)	0.2	-	徳島小松島港～神戸港
⑧コンテナ1個あたりの海上輸送費用原単位(円/個・日)	20FT8,578 40FT18,944	-	港湾整備事業の費用体効果分析マニュアル(H29.3) III-1-28から作成した近似式より、140TEU相当を設定
⑨海上輸送費用(百万円/年)	117.6	0	(③×⑧)/1,000,000
⑩一般道距離(km)	3.7～25.3	10.5～43.8	各工場～神戸港、徳島小松島港
⑪高速道距離(km)	-	100～110	各工場～神戸港、徳島小松島港
⑫往復輸送距離(km)	7.4～50.6	220～308	(⑩+⑪)×2
⑬コンテナ1個あたりの陸上輸送費用原単位(円/個)	17,691～ 72,443	106,687～ 195,386	港湾整備事業の費用体効果分析マニュアル(H29.3) III-1-27より設定
⑭トラック1台あたりの陸上輸送費用原単位(円/台)	13,304	13,304	港湾整備事業の費用体効果分析マニュアル(H29.3) III-1-41より設定
⑮コンテナ1個あたり的高速道路利用費用原単位(円/個)	-	13,952～ 15,436	港湾整備事業の費用体効果分析マニュアル(H29.3) III-1-27より設定
⑯陸上輸送費用(百万円/年)	633.8	1,873.9	(③×(⑬+⑮)+④×⑭)/1,000,000
⑰海上輸送時間(h)	6.0	-	⑤/⑥
⑱一般道路の走行速度(km/h)	33.3		港湾投資の評価に関する解説書(H29.4) P2-1-28より設定
⑲高速道路の走行速度(km/h)	72.4		港湾投資の評価に関する解説書(H29.4) P2-1-28より設定
⑳陸上輸送時間(h)	0.2～1.5	3.4～5.7	((⑩/⑱)+(⑪/⑲))×2
㉑国際海上コンテナ貨物の時間費用原単位(円/時)	20FT(輸出)1,640 20FT(輸入)1,230 40FT(輸出)2,357 40FT(輸入)1,845		港湾整備事業の費用体効果分析マニュアル(H29.3) III-1-29より設定
㉒輸送時間費用(百万円/年)	101.7	74.9	(③×(⑰+㉒)×㉑)/1,000,000
㉓輸送費用(百万円/年)	853.1	1,948.8	
輸送コスト削減額(億円/年)	11.0		(without時(㉓)-with時(㉓))/100